

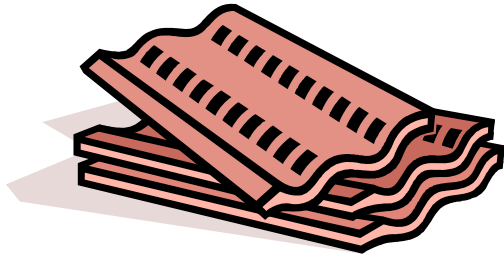
瓦用原料の調査研究

愛知県産業技術研究所 常滑窯業技術センター三河窯業試験場
鈴木陽子、竹内繁樹、松下福三

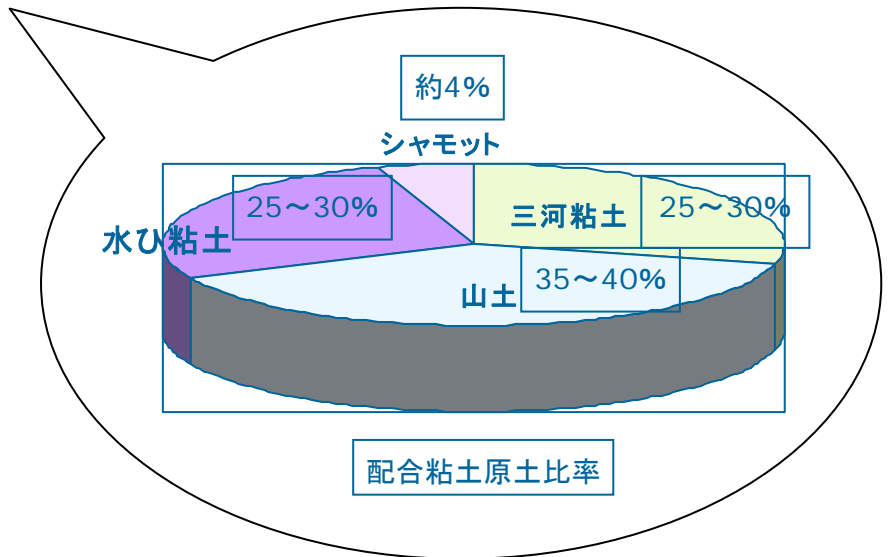
1. 研究の概要

三州陶器瓦は三河粘土、山土粘土及び水ひ粘土（珪砂・砂利採取後廃土）を混練した配合粘土によって製造されており、配合粘土中の各種原料の配合割合やそれらの質的変動は陶器瓦の品質に影響を与えます。そこで今年度から3年間に渡り各種粘土について化学分析や粒度分析などの窯業基礎性状試験を実施し、三州陶器瓦の品質安定と向上に役立てるための基礎資料とします。

2. 研究の背景



三州瓦



瓦用原料は主に三河粘土、山土、水ひ粘土の3種類が配合されています。この3種類の粘土は、性質が異なるため、それぞれの配合比率が重要です。

3. 研究の内容

原料の産出状況調査

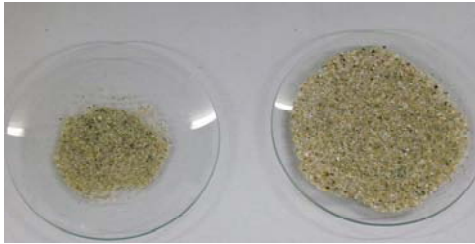
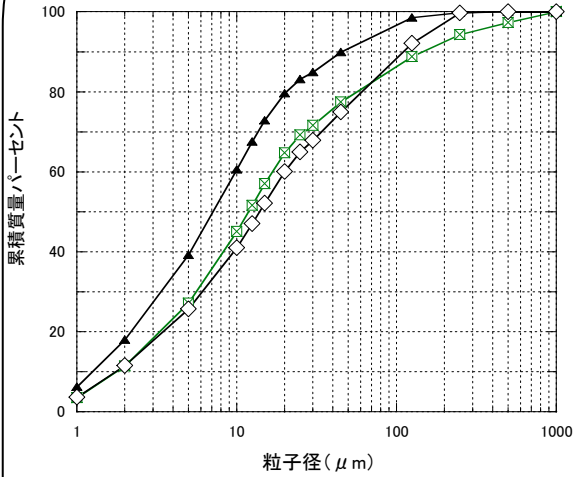
原料の採掘地別に調査とサンプリングを行います。



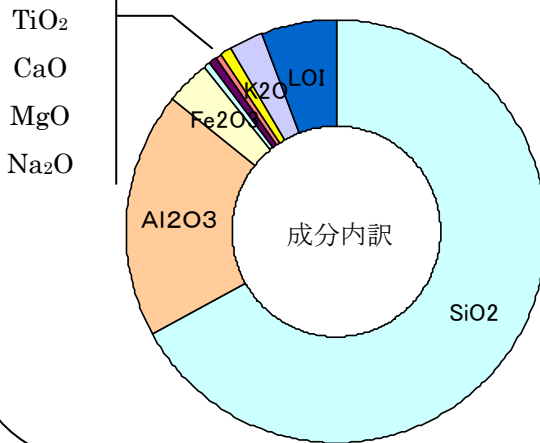
基礎性状試験の実施

化学分析や粒度分析等を行い、それぞれ原料の特徴を把握します。

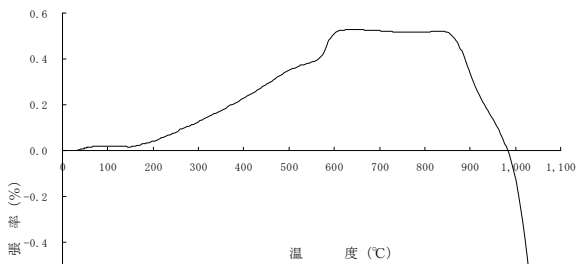
粒度分析



化学分析



熱的特性



熱膨張曲線図



成形特性



曲げ試験

